

緑の農学科群

建設現場見学会を実施

建設業への理解深める！

飛騨高山高校生が
工事現場で学ぶ
高山建設業協会が見学会
高山建設業協会（大山龍
彦理事長）は10日、高山



ドローンなどが活用されている
道路改良工事現場で説明を受ける
生徒ら＝高山市高根町

市の飛騨高山高校の生徒
を対象にした建設現場見
学会を、同市高根町で行っ
た。

建設業への理解を深めて
もらい、高校、大学卒業後
に地元建設業への就職につ
なげることを目的に実施。

この日は、同校緑の学科群
1年生46人が参加した。

同町の国道361号下之
向工区道路改良工事現場で
は、最初に県高山土木事務
所の金山和明道路第一係長
が全体概要を説明。施工業
者の中田土建（同町）の担
当者からはドローンを用い
た起工測量をはじめ、生産
性の向上などを目的とした
ICT（情報通信技術）施
工を活用している現状が説
明され、生徒たちは熱心に
耳を傾けた。

参加した洞口大真さん
（16）は「いろいろな機械を
使用していることを知り、
すごく勉強になった」と話
した。
（平田成範）